

令和 6 年度

公害関係各種調査結果

飯能市環境経済部

目 次

1	市内ゴルフ場における農薬調査結果	1
2	道路交通騒音測定結果	3
3	道路交通振動測定結果	6
4	大気関係常時監視測定結果	8
5	光化学スモッグ注意報発令日時内容	9
6	公害関係苦情受付状況	10
7	地下水汚染調査結果	11
8	ダイオキシン類環境調査結果	13
9	不法投棄パトロール等の状況	17
10	公共用水域の水質調査結果	18
11	底生生物調査結果	21

市内ゴルフ場における農薬調査結果
令和6年度

単位：mg/ℓ

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能ゴルフ倶楽部	久邇 カントリークラブ	武蔵丘 ゴルフコース	飯能グリーン カントリークラブ
			R6.6.11	R6.6.11	R6.6.11	R6.6.11
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	※
	ダイアジノン	0.025	※	※	※	※
	チオシカルブ	0.4	※	※	※	※
	トリクロロホン	0.025	※	※	※	※
	フェニトロチオン	0.015	0.0001	※	※	※
	ペルメトリン	0.5	※	※	※	※
	ペンシルタップ	0.45	※	※	※	※
殺菌剤	イプロシオン	1.5	※	※	※	※
	イミノクタンアルベシル 酸塩及びイミノクタン 酢酸塩	0.03	※	※	※	※
	エトリシアゾール	0.02	※	※	※	※
	オキシ銅	0.1	※	※	※	※
	キャプタン	1.5	※	※	※	※
	クロタロニル	0.2	※	※	※	※
	クロネブ	0.25	※	※	※	※
	ジフェノコナゾール	0.125	※	※	※	※
	シプロコナゾール	0.15	※	※	※	※
	チウラム	0.1	※	※	※	※
	チオファネートメチル	1.5	※	※	※	※
	チフルサミド	0.185	※	※	※	※
	テトラコナゾール	0.05	※	※	※	※
	トリフルミゾール	0.195	※	※	※	※
	トルクロホスメチル	1.0	※	※	※	※
	バリタマイシン	6.0	※	※	※	※
	ヒドロキシイソキサゾール	0.5	※	※	※	※
	プロピコナゾール	0.25	※	※	※	※
	ベノミル	0.1	※	※	※	※
	ボスカリト	0.55	※	※	※	※
	ホセチル	11.5	※	※	※	※
	ポリカーハメート	0.15	※	※	※	※
除草剤	アシュラム	5.0	※	※	0.001	※
	エトキシスルフロシ	0.7	※	※	※	※
	シクロスルファミロン	0.4	※	※	※	※
	シデュロン	1.5	※	※	※	※
	シマジン	0.015	※	※	※	※
	トリクロピル	0.03	※	※	※	※
	ナプロハミド	0.15	※	※	※	※
	フラサスルフロシ	0.15	※	※	※	※
	プロピサミド	0.25	※	※	※	※
	ペンフルラリン	0.05	※	※	※	※
	MCPAイソプロピルアミ ン塩及びMCPAナ トリウム塩	0.025	※	※	※	※
植物成長調整剤						
	トリネキサパックエチル	0.075	※	※	※	※

備考：「※」は、定量下限値未満

指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値

市内ゴルフ場における農薬調査結果
令和6年度

単位：mg/ℓ

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能パーク カントリークラブ	東都飯能 カントリークラブ	飯能くすの樹 カントリー倶楽部	本市の 指針値	新武蔵丘 ゴルフコース
			R6.6.11	R6.6.11	R6.6.11		R6.6.11
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	0.008	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	0.002	※
	ダイアジノン	0.025	※	※	※	0.005	※
	チオシカルブ	0.4	※	※	※	0.08	※
	トリクロロホン	0.025	※	※	※	0.005	※
	フェニトロチオン	0.015	0.0001	※	※	0.003	※
	ペルメトリン	0.5	※	※	※	0.1	※
	ペンシルタップ	0.45	※	※	※	0.09	※
殺菌剤	イプロジオン	1.5	※	※	※	0.3	※
	イミノクタジンアルベシル酸塩及びイミノクタジン酢酸塩	0.03	※	※	※	0.006	※
	エトリシアゾール	0.02	※	※	※	0.004	※
	オキシン銅	0.1	※	※	※	0.02	※
	キャプタン	1.5	※	※	※	0.3	※
	クロタロニル	0.2	※	※	※	0.04	※
	クロネブ	0.25	※	※	※	0.05	※
	ジフェノコナゾール	0.125	※	※	※	0.025	※
	シプロコナゾール	0.15	※	※	※	0.03	※
	チウラム	0.1	※	※	※	0.02	※
	チオファネートメチル	1.5	※	※	※	0.3	※
	チフルサミト	0.185	0.001	※	※	0.037	※
	テトラコナゾール	0.05	※	※	※	0.01	※
	トリフルミゾール	0.195	※	※	※	0.039	※
	トルクロホスメチル	1.0	※	※	※	0.2	※
	ハリダマイシン	6.0	※	※	※	1.2	※
	ヒドロキシイソキサゾール	0.5	※	※	※	0.1	※
	プロピコナゾール	0.25	※	※	※	0.05	※
	ベノミル	0.1	※	※	※	0.02	※
	ボスカリト	0.55	※	※	※	0.11	※
ホセチル	11.5	※	※	※	2.3	※	
ポリカーハメート	0.15	※	※	※	0.03	※	
除草剤	アシュラム	5.0	※	※	※	1	※
	エトキシスルフロン	0.7	※	※	※	0.14	※
	シクロスルフアムロン	0.4	※	※	※	0.08	※
	シデュロン	1.5	※	※	※	0.3	※
	シマジン	0.015	※	※	※	0.003	※
	トリクロピル	0.03	※	※	※	0.006	※
	ナブロパミト	0.15	※	※	※	0.03	※
	フラサスルフロン	0.15	※	※	※	0.03	※
	プロピサミト	0.25	※	※	※	0.05	※
	ペンフルラリン	0.05	※	※	※	0.01	※
	MCPAイソプロピルアミン塩及びMCPAナトリウム塩	0.025	※	※	※	0.005	※
植物成長調整剤							
トリネキサバクエチル	0.075	※	※	※	0.015	※	

備考：「※」は、定量下限値未満

指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値

但し、平成8年4月以降に営業を開始した新武蔵丘ゴルフコースに係る水質指針値は、5分の1を乗じて得た値

道路交通騒音測定結果
令和6年度

図面 番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測 定 日	時間帯別騒音レベル(dB)						走 行 方 向	交通量(台／10分)					平均 速度 (km/ h)
			測定値		環境基準		要請限度								
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間		大型	小型	二輪	小計	合計	
					70	65	75	70							
1	県道飯能寄居線 下加治バイパス 下加治354・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	65	62	○	○	○	○	飯能	7	31	1	39	85	43
									寄居	8	37	1	46		46
2	県道馬引沢飯能線 双柳373・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	63	56	○	○	○	○	狭山	1	18	2	21	45	37
									飯能	2	20	2	24		40
3	国道299号 双柳782・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	67	62	○	○	○	○	入間	2	40	3	45	86	45
									秩父	2	37	2	41		48
4	県道富岡入間線 阿須130・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	64	57	○	○	○	○	青梅	2	12	1	15	29	42
									入間	2	11	1	14		43
5	国道299号 八幡町13・2車線 C 地 域	12/3 ～ 12/4	62	56	○	○	○	○	入間	3	22	1	26	51	33
									秩父	3	21	1	25		33
6	県道二本木飯能線 川寺627・2車線 C 地 域	12/3 ～ 12/4	65	64	○	○	○	○	入間	3	19	2	24	45	40
									飯能	2	18	1	21		40
7	国道299号 飯能狭山バイパス 青木37・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	63	62	○	○	○	○	狭山	5	52	2	59	116	42
									飯能	8	47	2	57		41
8	県道飯能名栗線 永田539-1・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	64	57	○	○	○	○	飯能	3	28	2	33	71	53
									名栗	2	35	1	38		50
9	国道299号 井上169・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	71	70	×	×	○	○	入間	7	41	6	54	98	54
									秩父	8	34	2	44		57

図面番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測定日	時間帯別騒音レベル(dB)						走行方向	交通量(台／10分)					平均速度(km/h)
			測定値		環境基準		要請限度								
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間		大型	小型	二輪	小計	合計	
					65	60	75	70							
10	市道川寺上野線 飯能1344・2車線 B 地 域	12/3 ～ 12/4	66	63	×	×	○	○	上野	6	32	1	39	83	41
									川寺	7	36	1	44		46

○…基準値内 ×…基準値超過 ※交通量台数は2回(11時、17時)測定した平均値
環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされる基準。
要請限度：自動車による騒音がこの限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれている場合、公安委員会に必要な措置の要請及び道路管理者等に意見が述べることのできる限度。

考察：昼間(6時～22時)2地点、夜間(22時～6時)2地点に、環境基準の超過があります。
しかし、いずれも要請限度を下回っています。

<面的評価> 一般国道 299 号

昼夜別 区間数	昼 間			夜 間		
	達成戸数	全戸数	環境基準達成率	達成戸数	全戸数	環境基準達成率
1	1, 178	1, 178	100. 0%	1, 178	1, 178	100. 0%



<騒音に係る環境基準>

ア 一般の環境基準

地域の種類	時間の区分		該 当 地 域
	昼間 (6 時～22 時)	夜間 (22 時～6 時)	
A	5 5 d B 以下	4 5 d B 以下	第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域
B			第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、用途外
C	6 0 d B 以下	5 0 d B 以下	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

イ 道路に面する地域の環境基準

地域の区分	昼 間	夜 間
A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する地域	6 0 d B 以下	5 5 d B 以下
B 地域のうち 2 車線以上の車線を有する地域	6 5 d B 以下	6 0 d B 以下
C 地域のうち車線を有する地域		

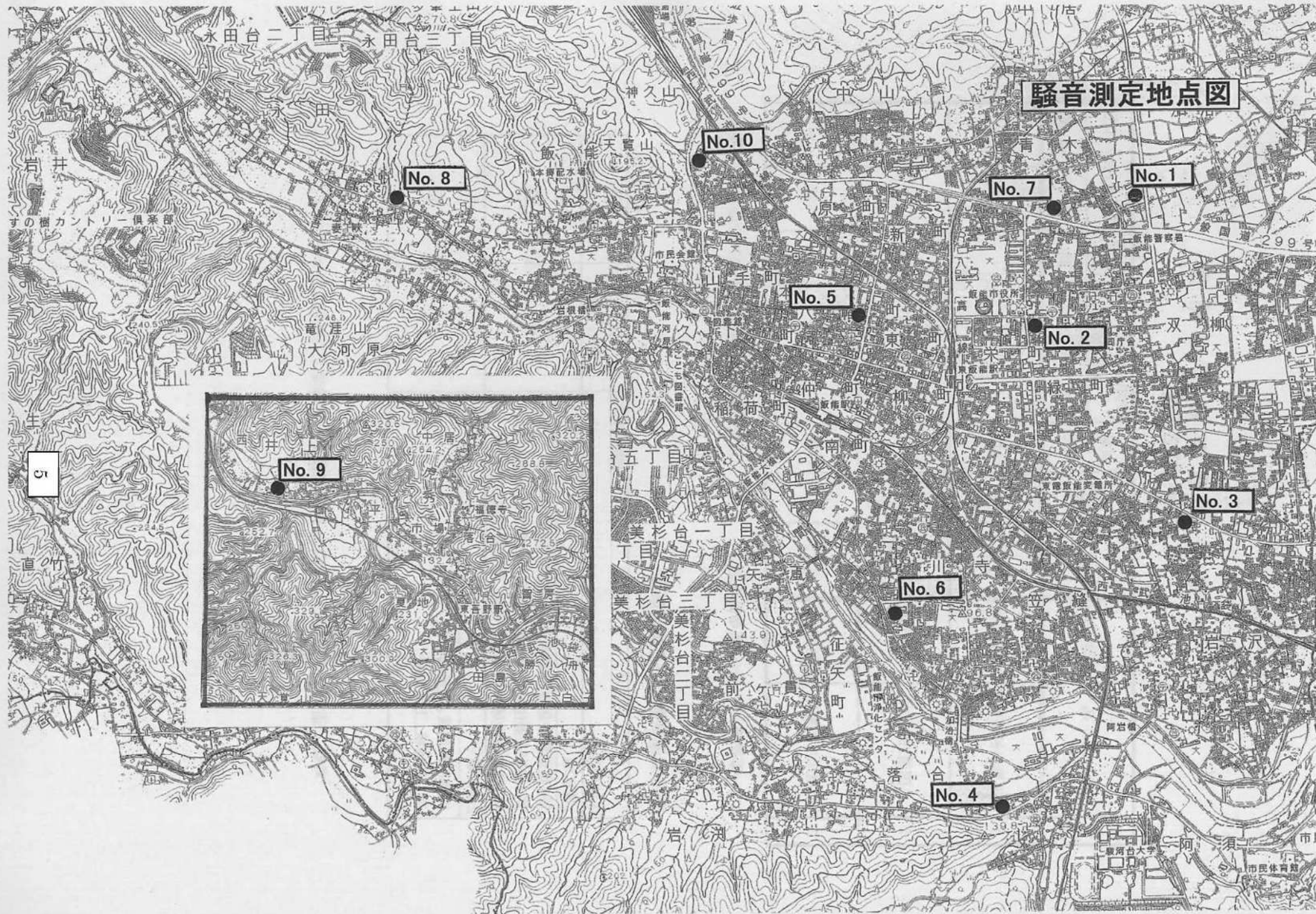
注) 車線とは、1 縦列の自動車が安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

ウ 幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準 (特例)

区 分	昼 間	夜 間
屋 外	7 0 d B 以下	6 5 d B 以下

注) 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、4 車線以上の市町村道をいう。

騒音測定地点図



道 路 交 通 振 動 測 定 結 果
令和6年度

図面 番号	道 路 名	測定地点	測定日	車線 数	区域 の 区分	時間別振動レベル 上端値(dB) (要 請 限 度)		交通量(台／10分)	
						昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
1	県道馬引沢・飯能線	双柳373	12/3 ～12/4	2	1種	○ 36 (65)	○ 29 (60)	67	17
2	国道299号	八幡町13	12/3 ～12/4	2	2種	○ 33 (70)	○ 27 (65)	80	17
3	市道川寺上野線	飯能1344	12/3 ～12/4	2	1種	○ 42 (65)	○ 35 (60)	134	24

○…基準値内 ×…基準値超過 ※交通量台数は昼間2回(11時、17時)、
夜間2回(22時、2時)を測定した平均値

道路交通振動に係る要請限度

区域の区分	時間の区分	
	昼間 (8時～19時)	夜間 (19時～8時)
1種区域		
第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途外	65	60
2種区域		
近隣商業地域、商業地域 準工業地域、工業地域	70	65

考察： 道路交通振動については、要請限度を十分満足する数値となっています。



大気関係常時監視測定結果 令和6年度

一酸化窒素(NO) 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	平均等
月平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
1時間値の最高値	0.010	0.013	0.009	0.009	0.024	0.011	0.019	0.034	0.024	0.022	0.021	0.012	0.034
日平均値の最高値	0.001	0.002	0.001	0.003	0.002	0.001	0.002	0.006	0.007	0.003	0.003	0.002	0.007

二酸化窒素(NO2) 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下 (単位:ppm)

項目 / 月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	平均等
月平均値	0.006	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
1時間値の最高値	0.025	0.018	0.024	0.013	0.014	0.014	0.018	0.023	0.033	0.027	0.024	0.025	0.033
日平均値の最高値	0.012	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.008	0.010	0.015	0.013	0.014	0.010	0.015

窒素酸化物 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	平均等
月平均値	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004	0.005	0.007	0.008	0.008	0.007	0.007	0.006
1時間値の最高値	0.030	0.029	0.026	0.015	0.028	0.016	0.035	0.048	0.052	0.041	0.037	0.033	0.052
日平均値の最高値	0.013	0.009	0.009	0.007	0.007	0.007	0.010	0.014	0.022	0.016	0.016	0.012	0.022

光化学オキシダント 環境基準値:1時間値が0.06ppm以下

(単位:ppm)

項目 / 月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	合計等
昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた	日数	17	18	18	20	14	12	2	0	0	2	10	113
	時間	89	91	108	110	69	47	8	0	0	6	61	589
昼間の1時間値が 0.12ppmを超えた	日数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	時間	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
昼間1時間値の最高値	0.089	0.102	0.105	0.147	0.110	0.091	0.079	0.054	0.047	0.053	0.067	0.084	0.147

浮遊粒子状物質 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下、かつ1時間値が0.20mg/m³以下 (単位:mg/m³)

項目 / 月	R6. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7. 1	2	3	平均等
月平均値	0.022	0.015	0.019	0.026	0.019	0.017	0.013	0.012	0.010	0.011	0.011	0.020	0.016
1時間値の最高値	0.089	0.037	0.046	0.062	0.051	0.044	0.031	0.034	0.035	0.037	0.043	0.098	0.098
日平均値の最高値	0.054	0.026	0.038	0.042	0.030	0.031	0.021	0.022	0.017	0.020	0.023	0.053	0.054

※埼玉県大気汚染常時監視測定局(飯能局)で測定した数値
設置場所 飯能県土整備事務所

一酸化窒素(NO): 無色の気体で液化しにくく空気よりやや重い。空気又は酸素に触れると赤褐色の二酸化窒素に変わる。

二酸化窒素(NO2): 石油や石炭等の窒素分を含んだ燃料の燃焼によって発生する。呼吸器系の疾患の原因となる。

窒素酸化物(NOx): 窒素と酸素の反応により生成された物質の総称。NOやNO2等が主なもので、光化学スモッグの原因物質の一つ。

光化学オキシダント: 紫外線によって複雑な化学反応を起こして作られるオゾン、PAN、NO2等の酸化性物質の集合体。

浮遊粒子状物質: 粉じん、ばいじん等の大気中の粒子状物質のうち、その粒径が10μm以下のもの。SPM。

光化学スモッグ注意報発令日時内容
令和6年度 県南西部地区

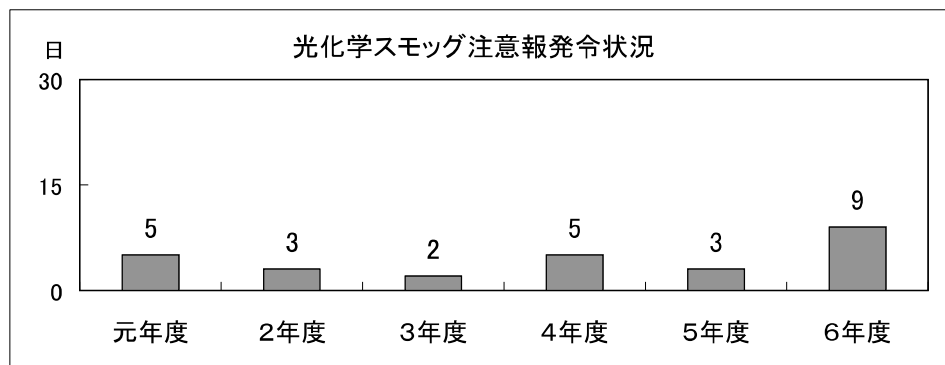
No.	発 令 日	天候	発 令 時 間	発 令 内 容	最 高 値
1	令和6年7月4日(木)	晴れ時々曇り	17:20～18:20	光化学スモッグ注意報	0.136ppm
2	令和6年7月5日(金)	晴れ	16:20～19:20	光化学スモッグ注意報	0.152ppm
3	令和6年7月8日(月)	晴れ時々曇り	17:20～18:20	光化学スモッグ注意報	0.130ppm
4	令和6年7月18日(木)	曇り時々晴れ	14:20～16:20	光化学スモッグ注意報	0.130ppm
5	令和6年7月23日(火)	晴れ時々曇り	14:20～16:20	光化学スモッグ注意報	0.125ppm
6	令和6年7月25日(木)	曇り時々晴れ	15:20～16:20	光化学スモッグ注意報	0.131ppm
7	令和6年8月3日(土)	晴れ	15:20～18:20	光化学スモッグ注意報	0.136ppm
8	令和6年8月4日(日)	晴れのち曇り	16:20～18:20	光化学スモッグ注意報	0.127ppm
9	令和6年8月5日(月)	晴れのち雨	14:20～16:20	光化学スモッグ注意報	0.140ppm

○光化学スモッグ発令基準

注 意 報：オキシダント測定値が0.12ppm以上となり、継続すると認められるとき。

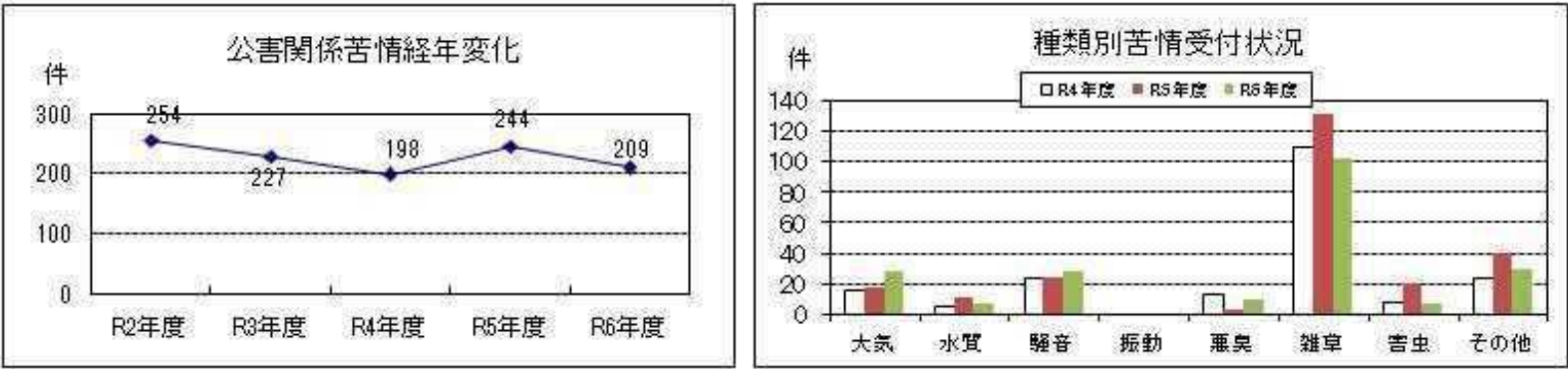
警 報：オキシダント測定値が0.20ppm以上となり、継続すると認められるとき。

重大緊急報：オキシダント測定値が0.40ppm以上となり、継続すると認められるとき。



※県南西部地区では、昭和60年から警報の発令はありません。

令和6年度 公害関係苦情受付状況



※同じ原因に対する苦情は、1件としています。

○主な苦情

No	受理日	種 別	地 域	苦 情 内 容 及 び 対 応
1	R6. 4. 22	害虫	仲町	原因地に蜂の巣があり危険である。→現地訪問し、安全かどうか確認した。
2	R6. 6. 14	動物	青木	家の近くでヘビをみた。身の危険を感じるので、現場に来てほしい。→現場確認し、専門業者に連絡するように依頼した。
3	R6. 6. 17	雑草	落合	原因地内に雑草が繁茂し困っている。→現地確認の上、所有者に除草を依頼した。
4	R6. 7. 18	大気汚染	下川崎	原因地から煙が見えると連絡あり。→現地訪問し、安全かどうか確認した。
5	R6. 7. 19	動物	仲町	自宅に猫が糞をするようになって困っている→現地確認を行い、求餌者ヘトイレ設置のお願いをした。 また、TNRの必要があり、ボランティアに相談をした。
6	R6. 8. 15	雑草	下川崎	原因地からの草木の越境で困っている。→現地確認の上、所有者に枝木の剪定及び土地の適正管理を依頼した。
7	R6. 8. 28	害虫	双柳	原因地に大量の毛虫がおり、困っている。→現地訪問し、所有者へ適正管理を依頼した。
8	R6. 10. 7	ごみ	小瀬戸	原因地内にゴミが放置されている。→所有者へ敷地の適正管理を指導した。
9	R6. 10. 25	大気汚染	双柳	野焼きにより煙と臭いで困っている。→現地訪問し、周辺への配慮を求めた。
10	R6. 11. 29	雑草	矢廐	原因地内に雑草が繁茂して困っている。→現地確認の上、所有者に除草を依頼した。
11	R6. 12. 11	大気汚染	笠縫	原因地宅の薪ストーブの煙と臭いで困っている。→現地訪問し、周辺への配慮を求めた。
12	R7. 1. 24	騒音	笠縫	原因地の室外機等の音がうるさくて困っている。→現地訪問し、周辺への配慮を求めた。
13	R7. 2. 27	大気汚染	下直竹	野焼きによる煙で困っている。→現地訪問し、周辺への配慮を求めた。
14	R7. 3. 7	騒音	平松	工事車両の音がうるさくて困っている。→現地訪問し、周辺への配慮を求めた。
15	R7. 3. 13	雑草	美杉台	原因地内に雑草が繁茂し困っている。→現地確認の上、所有者に除草を依頼した。

地下水汚染調査結果

トリクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・岩沢
2年度	0.01	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.550	0.001未満	0.001未満
3年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.510	0.001未満	0.001未満
4年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.550	0.001未満	0.001未満
5年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.190	0.001未満	0.001未満
6年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.450	0.001未満	0.001未満

テトラクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・岩沢
2年度	0.01	0.0045	0.0096	0.0005未満	0.0011	0.0015	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
3年度		0.0050	0.009	0.001未満	0.001未満	0.0010	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
4年度		0.0045	0.007	0.0005未満	0.0005未満	0.0014	0.0005未満	0.0006	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5年度		0.0044	0.0089	0.0005未満	0.0005未満	0.0011	0.0005未満	0.0006	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6年度		0.0037	0.0076	0.0005未満	0.0005未満	0.0012	0.0005未満	0.0005	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満

1, 1, 1-トリクロロエタン

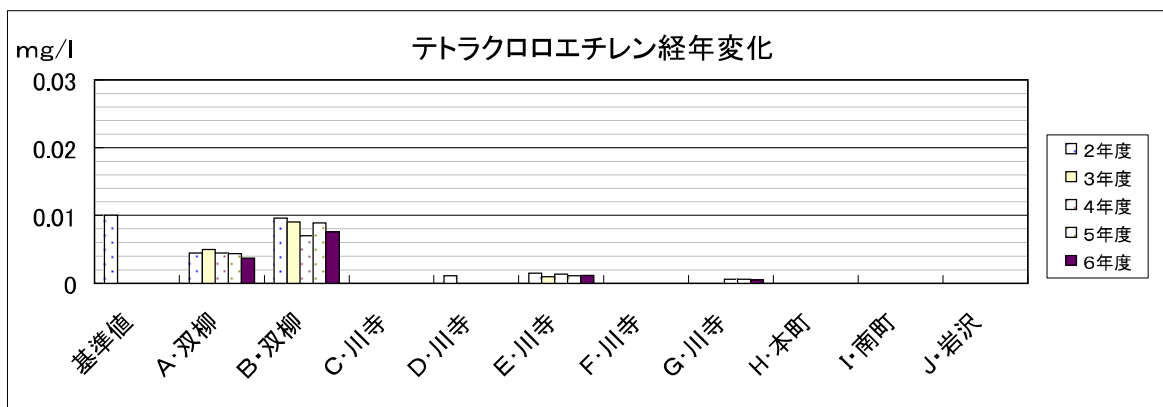
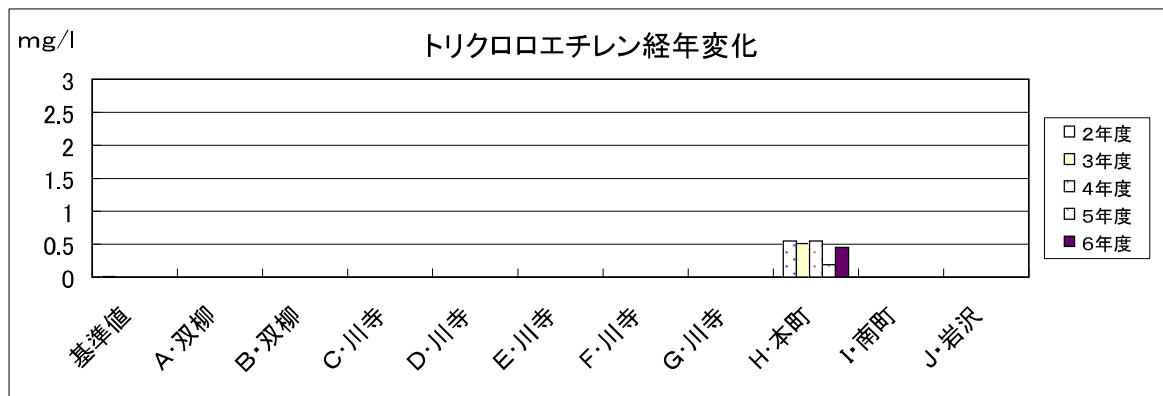
(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・岩沢
2年度	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
3年度		0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満	0.10未満
4年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0014	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
5年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
6年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満

採水年月日 令和7年1月28日

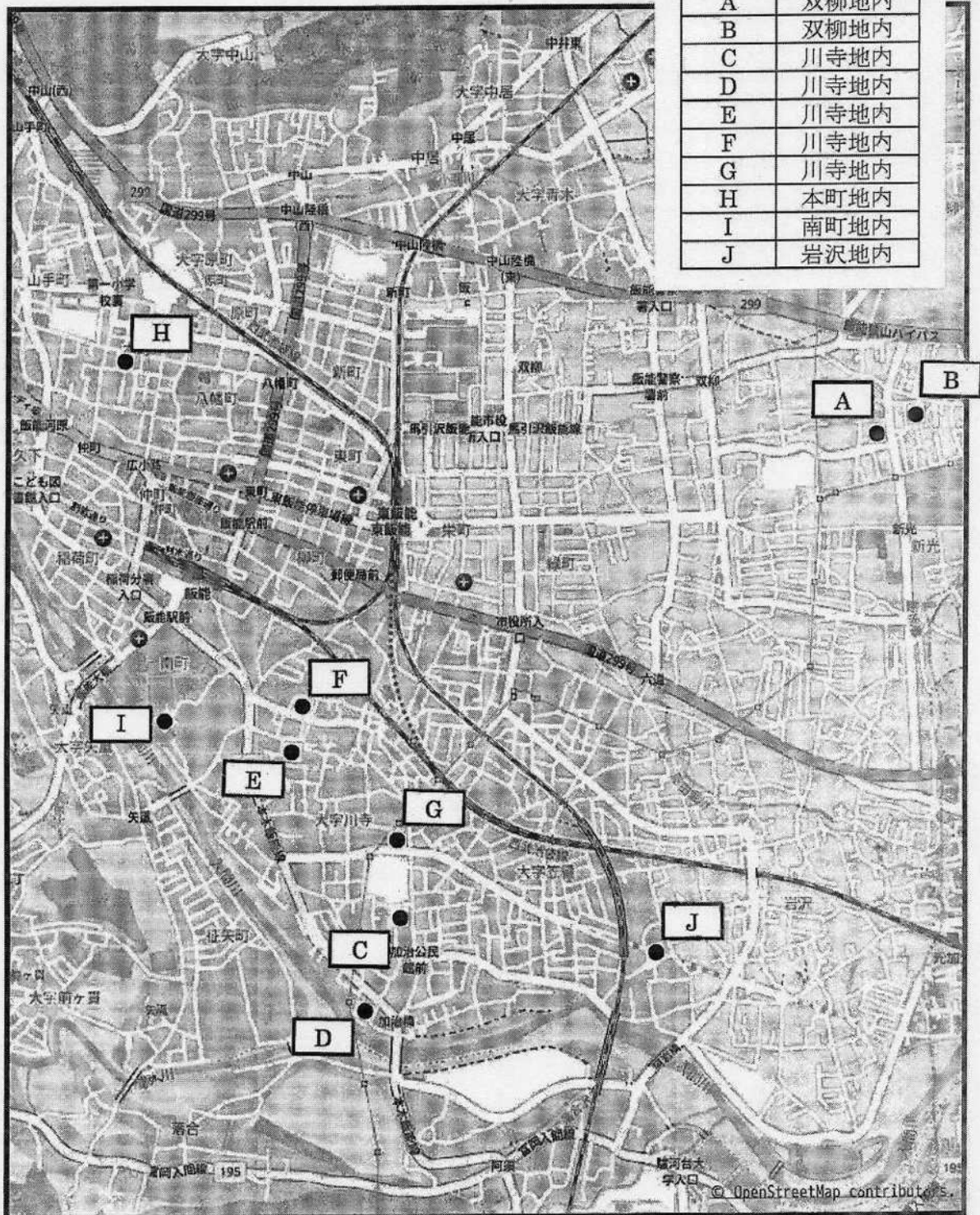
は、環境基準超過

※D・川寺は22年度から調査地点変更、H・本町は23年度から実施、J・岩沢はR4年度から調査地点変更



地下水調査地点図

記号	調査地点
A	双柳地内
B	双柳地内
C	川寺地内
D	川寺地内
E	川寺地内
F	川寺地内
G	川寺地内
H	本町地内
I	南町地内
J	岩沢地内



ダイオキシン類環境調査結果

1. 大気調査

調査期日	令和6年10月21日～10月28日（1週間サンプリング手法）
調査項目	大気中のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目
調査方法	ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（令和4年3月環境省水・大気環境局）に示す方法。 ※二重測定の実施 … 上記マニュアルに基づき試料採取分析における総合的な信頼性を確保するため、同一条件で採取した2以上の試料について、同様に分析し定量下限値以上の濃度の測定対象物質について両者の差が30%以下であることを確認する。
調査結果	ダイオキシン類対策特別措置法の大気に対する環境基準値である 0.6 pg-TEQ/m^3 と比較すると、全地点で基準値以下でした。（下表参照）

調 査 地 点	毒性換算濃度（ pg-TEQ/m^3 ）		
	令和5年度	令和6年度	基 準 値
飯能市役所	0.0059	0.0068	0.6
精明地区行政センター	0.0036	0.0086	
加治東地区行政センター	0.0081	0.011	
美杉台小学校	0.0027	0.0049	
南高麗中学校	0.0039	0.0072	
奥武蔵中学校	0.0026	0.0033	
東吾野地区行政センター	0.0019	0.0032	
原市場中学校	0.043	0.0035	
名栗地区行政センター	0.0023	0.0029	

2. 土壌調査

調査期日	令和6年10月25日
調査項目	土壌のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目
調査方法	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（令和4年3月環境省水・大気環境局）に準拠
調査結果	ダイオキシン類対策特別措置法の土壌に対する環境基準値である1000 pg-TEQ/gと比較すると、全地点で基準値以下でした。（下表参照）

調査地点	毒性換算濃度（pg-TEQ/g）		
	令和5年度	令和6年度	基準値
飯能第一中学校		2.6	1000
飯能西中学校		1.2	
加治東小学校		2.7	
南高麗小学校		3.6	
旧吾野小学校		0.15	
飯能第一小学校	0.98		
双柳小学校	2.6		
美杉台小学校	0.023		
奥武蔵小学校	0.53		
原市場中学校	1.3		

- (注) ・ pg … ピコグラム（1 pg = 1 兆分の1グラム）
- ・ TEQ … 毒性等量。ダイオキシン類は多くの異性体が存在し、毒性もそれぞれ異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算して表していることを示す符号。

考 察 ○大気調査の結果は法令等（焼却規制）の強化により、全ての調査地点で0.1 pg-TEQ/g未満の数値となっています。

○土壌調査の調査地点は毎年変更していますが、全て1桁以下の数値となっています。

3. ごみ処理施設調査

調査期日 令和6年6月3日及び7月11日
 調査項目 ごみ焼却施設 … 排ガス、焼却灰、飛灰
 最終処分場 … 放流水、地下水
 調査結果 ごみ焼却施設及び最終処分場とも、基準値以下で維持管理されています。

○クリーンセンター

調 査 地 点		毒性換算濃度（n g－T E Q／m ³ N）		
		令和5年度	令和6年度	基準値
排ガス	1 号 炉	0．0 0 5 6	0．0 1 7	5
	2 号 炉	0．0 0 2 9	0．0 0 0 2 1	
		毒性換算濃度（n g－T E Q／g）		
焼却灰	1 号 炉	0．0 0 0 4 5	0．0 0 0 3 9	3
	2 号 炉	0	0．0 0 0 6 1	
飛 灰	1 号 炉	0．2 1	0．3 6	
	2 号 炉	0．7 6	0．3 7	

測定日：1号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）令和6年7月11日

2号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）令和6年6月3日

○最終処分場

調 査 地 点	毒性換算濃度 (p g - T E Q / l)		
	令和5年度	令和6年度	基準値
新最終処分場排水	0. 0 0 0 0 1 5	0. 0 0 0 0 8 3	1 0
旧最終処分場排水	0. 2 1	0. 1 7	
新最終処分場観測井(下流側)	0. 1 1	0. 0 8 7	1

測定日：新最終処分場排水 令和6年6月3日

旧最終処分場排水 令和6年6月3日

新最終処分場観測井（下流側） 令和6年6月3日

(注)・n g…ナノグラム (1 n g = 1 0 億分の1グラム)

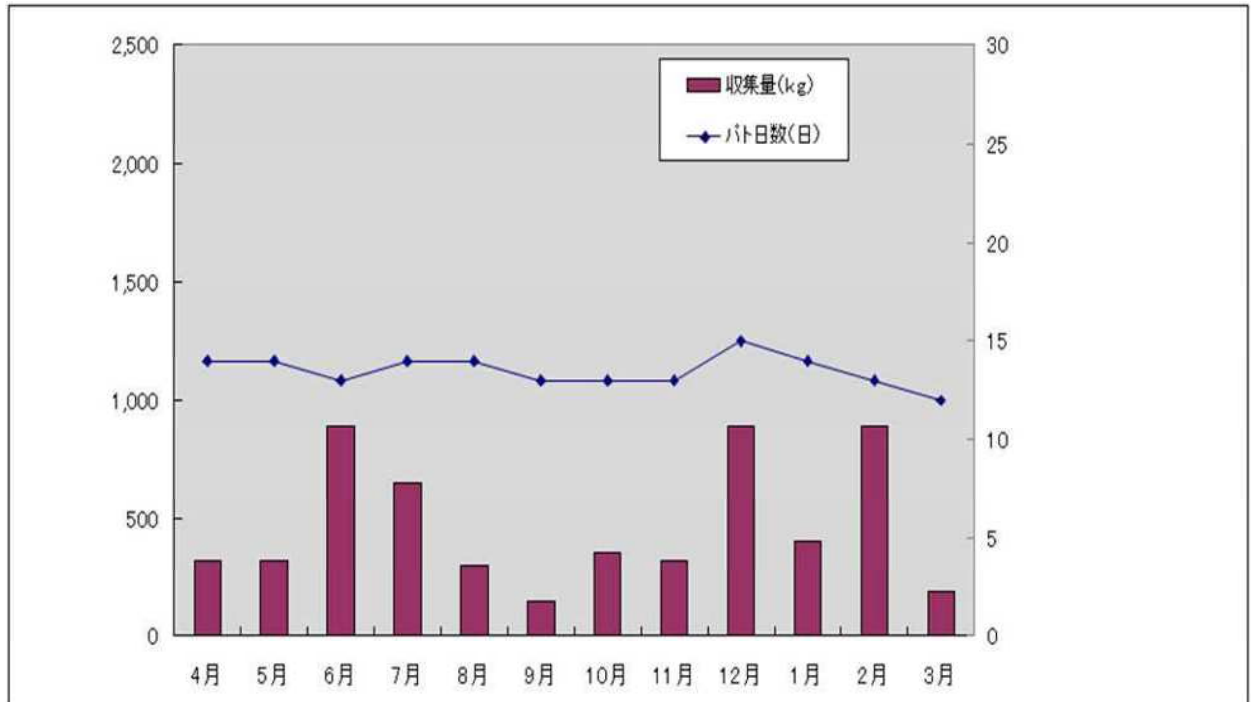
・p g…ピコグラム (1 p g = 1 兆分の1グラム)

・m³N…ノルマル立方メートル 0℃、1気圧の状態に換算したガスの量

不法投棄パトロール等の状況

パトロール員による不法投棄物等の収集状況

令和6年度状況 パトロール日数 162日 収集量 5,670kg



主な不法投棄場所（500kg以上）等

	収集日	不法投棄場所	主な投棄物	収集量
1	R6.6.6	上名栗地内	鉄柱・コンクリートブロック等	670 kg
2	R6.12.10	原市場地内	伐採木・草等	550 kg
3	R7.2.20	長沢地内	建築廃材	720 kg

年度別パトロール状況等

年度	パトロール日数	パトロール員収集量	【参考】不法投棄総量
R 2	239日	17,830 kg	23,770 kg
R 3	155日	8,940 kg	19,480 kg
R 4	173日	6,490 kg	14,350 kg
R 5	150日	4,870 kg	10,330 kg
R 6	162日	5,670 kg	12,440 kg

公共用水域の水質調査結果地点別総括表(生活環境項目)

(令和6年度)

河川名等	地点名	類型	pH		BOD(mg/l)			DO(mg/l)		SS(mg/l)		大腸菌数(CFU/100ml)	
			平均値	最小値 ～ 最大値	平均値	75%値	最小値 ～ 最大値	平均値	最小値 ～ 最大値	平均値	最小値 ～ 最大値	平均値	最小値 ～ 最大値
入間川	中郷橋下	A	7.6	7.5 ～ 7.8	0.5	0.5	0.5 ～ 0.5	10.6	9.2 ～ 12.4	1	1 ～ 1	50	5 ～ 170
	弁天河原	A	7.5	7.3 ～ 7.8	0.5	0.5	0.5 ～ 0.6	10.6	8.6 ～ 12.7	1	1 ～ 1	35	10 ～ 74
	開運橋下	A	7.6	7.5 ～ 7.8	0.5	0.5	0.5 ～ 0.5	10.5	8.8 ～ 12.9	1	1 ～ 1	45	3 ～ 110
	上赤沢バス折返場下	A	7.6	7.5 ～ 7.8	0.5	0.5	0.5 ～ 0.6	10.4	8.8 ～ 12.8	1	1 ～ 1	93	4 ～ 200
	小岩井取水堰下	A	7.7	7.6 ～ 8.0	0.5	0.5	0.5 ～ 0.6	10.6	8.6 ～ 13.4	1	1 ～ 1	69	15 ～ 160
	割岩橋下	A	7.8	7.6 ～ 8.3	0.6	0.5	0.5 ～ 0.7	10.6	8.6 ～ 14.2	1	1 ～ 2	93	13 ～ 250
	阿岩橋下	A	7.6	7.5 ～ 7.7	3.0	2.1	0.8 ～ 10.0	9.0	7.7 ～ 10.9	2	1 ～ 4	1,150	100 ～ 2,200
高麗川	坂石橋下	A	7.8	7.7 ～ 8.0	0.5	0.5	0.5 ～ 0.5	10.9	8.8 ～ 13.7	1	1 ～ 1	94	59 ～ 150
	東吾野橋下	A	7.8	7.7 ～ 8.0	0.5	0.5	0.5 ～ 0.6	10.9	8.8 ～ 14.0	1	1 ～ 1	72	13 ～ 180
成木川	清川橋下	A	7.8	7.6 ～ 8.1	0.6	0.5	0.5 ～ 0.9	10.6	8.6 ～ 13.5	2	1 ～ 4	170	24 ～ 330
中藤川	一ノ瀬橋下	—	7.7	7.6 ～ 8.0	0.5	—	0.5 ～ 0.6	10.7	8.4 ～ 14.4	1	1 ～ 1	245	47 ～ 510
藤田堀	大字岩沢350番地先	—	7.1	7.0 ～ 7.2	2.5	—	1.1 ～ 4.7	7.6	6.6 ～ 8.8	2	1 ～ 4	2,828	840 ～ 11,000
南小畔川	大字青木・下加治境	—	7.4	7.3 ～ 7.7	1.4	—	0.5 ～ 2.8	8.9	7.3 ～ 10.7	2	1 ～ 2	1,472	93 ～ 6,500

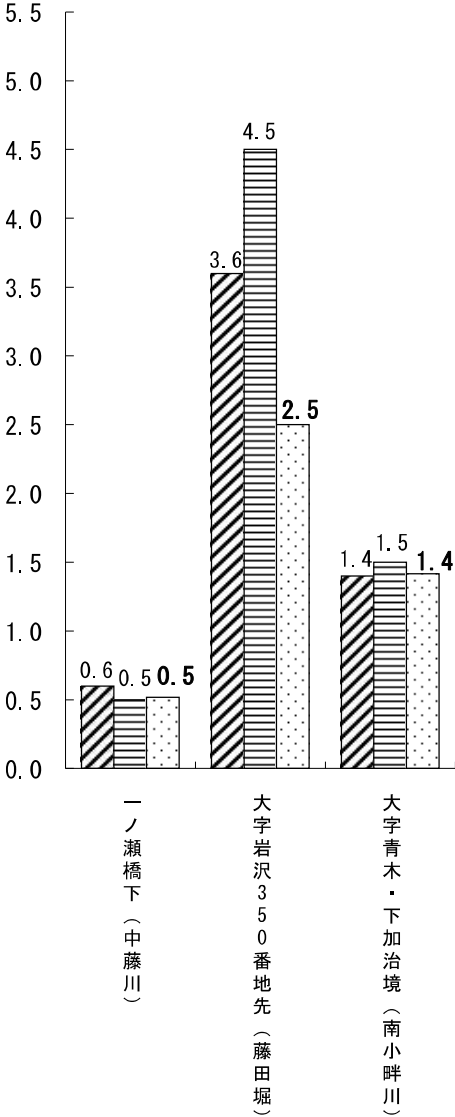
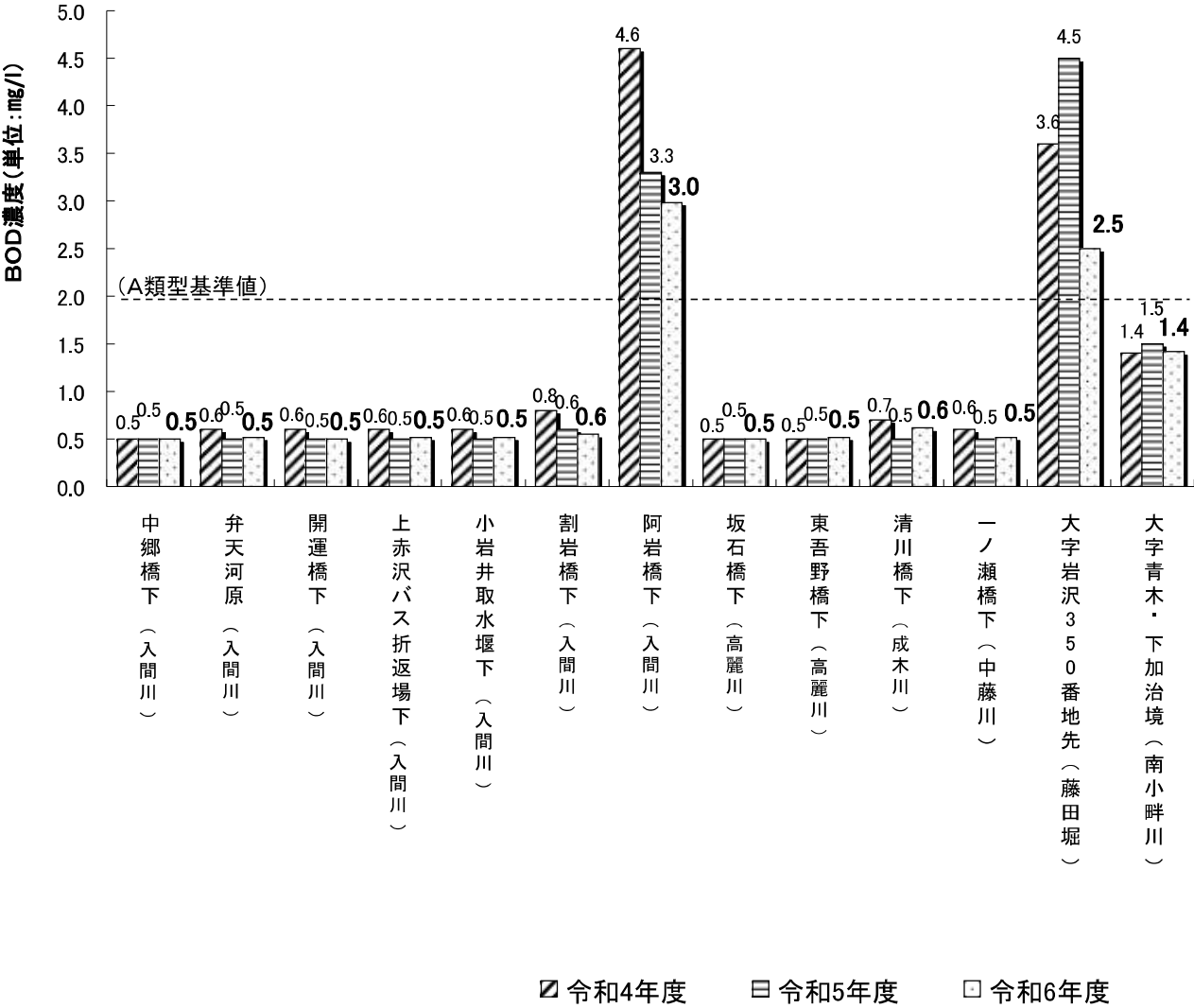
※BODは0.5未満を0.5、SSは1未満を1と表示

※令和4年4月1日から公共用水域の水質汚濁に係る環境基準が改正され、生活環境の保全に関する環境基準のうち、大腸菌群数から大腸菌数へ見直されています。

参考) 生活環境の保全に関する環境基準(河川)

項目 類型	基 準 値				
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	溶存酸素量 (DO)	浮遊物質質量 (SS)	大腸菌数 (CFU/100ml)
A	6.5～8.5	2mg/l以下	7.5mg/l以上	25mg/l以下	300(CFU/100ml)以下
B	6.5～8.5	3mg/l以下	5mg/l以上	25mg/l以下	1,000(CFU/100ml)以下

河川別BOD状況(過去3年間)



水質調査地点案内図



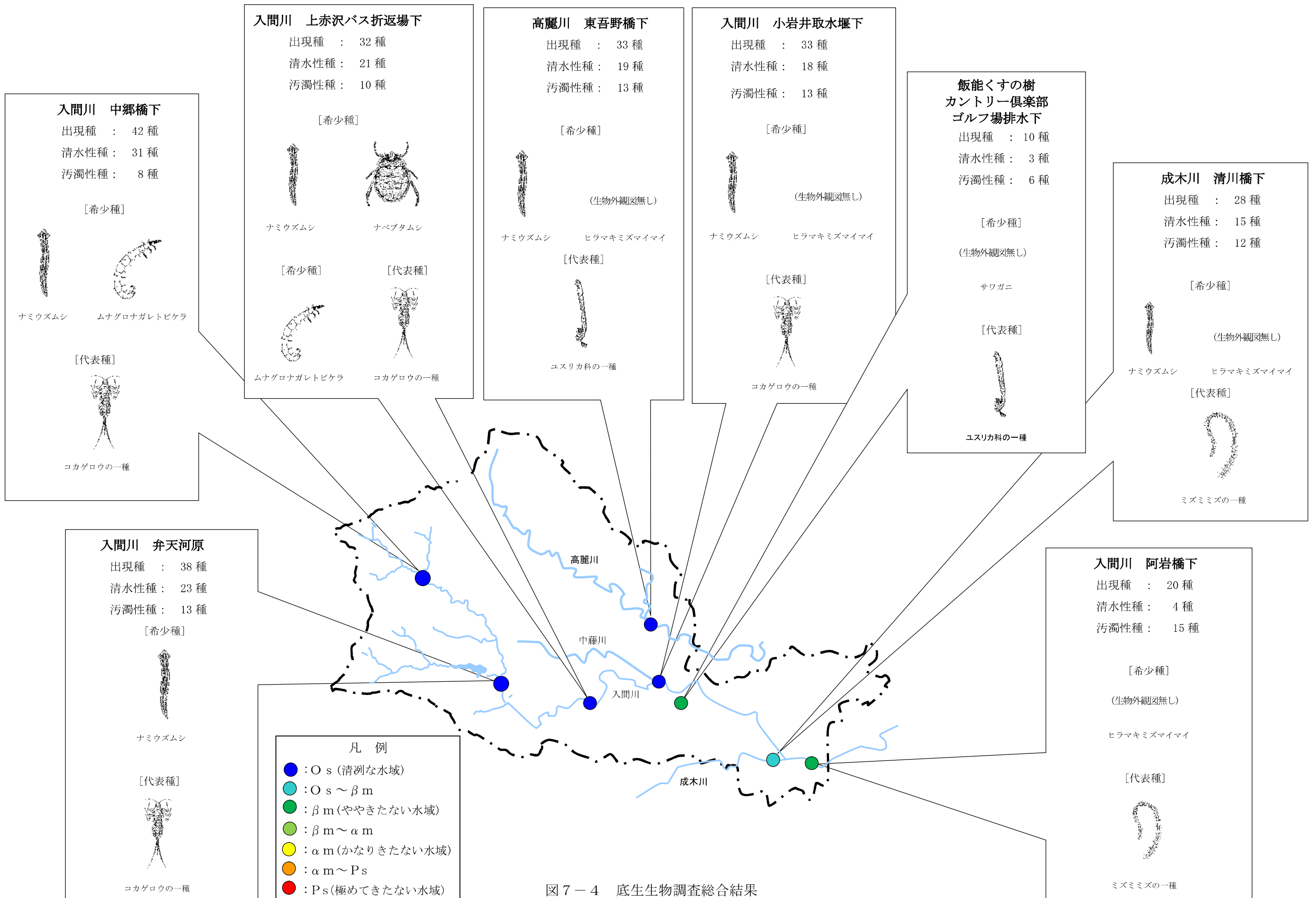


図 7 - 4 底生生物調査総合結果